お鍋とお皿とカーテン

村山籌子

青空文庫

これは　せんせいが　一年生に　してくださつた　おはなしです。

あるおうちの　お台所に　お鍋とお皿とカーテンが　くらしてゐました。

ところが　おなべも　お皿も　カーテンも　毎日　おなじおしごとを　してゐるのが、いやになつて、お台所から　にげだすことにしました。

お鍋と　お皿は　さきにでぐちの　ところへ　いきましたが、まつても　まつても　カーテンが　きません。

「はやくこないと　二人で行つてしまふわよ。」お鍋と　お皿はいらいらして　いひました。

「だつて、わたし、いくら　あし　で　ふんばつても、あたまが　てつのぼうに　くつついてゐて、はなれないのよ。」とカーテンはなきながら、あたまをてつのぼうから、はづさうとしました。お鍋とお皿も、カーテンの　すそをもつて、うんさこら　うんさこらとひつぱりましたが、だめです。

そこで、お鍋とお皿の、どつちかが　カーテンをよぢのぼつていつて、てつのぼうを　はずすことに　なりました。

お鍋と　お皿が　じやんけんをして、まけたはうが　のぼつてゆくことに　しました。

お鍋が　まけました。お皿は下で　大きな口をあけて、けんぶつして　ゐました。

まけたお鍋は　カーテンの　わきばらを　よぢのぼりました。

ところが　お鍋が　よぢのぼるにつれて、カーテンはよこはらが　くすぐつたく　なりました。そして　とう〳〵　がまんが　できなくなつて、

「あゝ、くすぐつたい。」といつて、お鍋を　いきなり　ふりとばしました。

お鍋は　からんころん、からんころん、ころ〳〵、ころ〳〵と、台所の　むかふの　はしまで、ころがつて行きました。その　かつかう　が、とてもおかしかつたので、カーテンは　「アハハハハハ」と　大わらひしました。

お皿は　わたしだつたら、こな〳〵〳〵　に　こはれるところだつたのに、「まあよかつた。」と　むねを　なでおろしました。

お鍋は　もと〳〵　たいへんな　はづかしがりやさんでしたから、カーテン　に　わらはれたので、かほを　まつかにして、とだなの　中へ　かけこんだきり、いくら、カーテンと　お皿が、よんでも　でてきません。

こんなわけで、お鍋とお皿を　カーテンは　にげださないで、いまでも　お台所で、やくにたつてゐます。もし　にげだしてゐたら、くづやさんに　ひろはれて、かなしい　みのうへに　なつてゐたでせう。

青空文庫情報

底本：「日本児童文学大系　第二六巻」ほるぷ出版
　　1978（昭和53）年11月30日初刷発行
初出：「コドモノクニ」東京社
　　1937（昭和12）年7月
※底本の本文は、著者訂正稿によります。
入力：菅野朋子
校正：noriko saito
2011年7月14日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お鍋とお皿とカーテン

村山籌子

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/